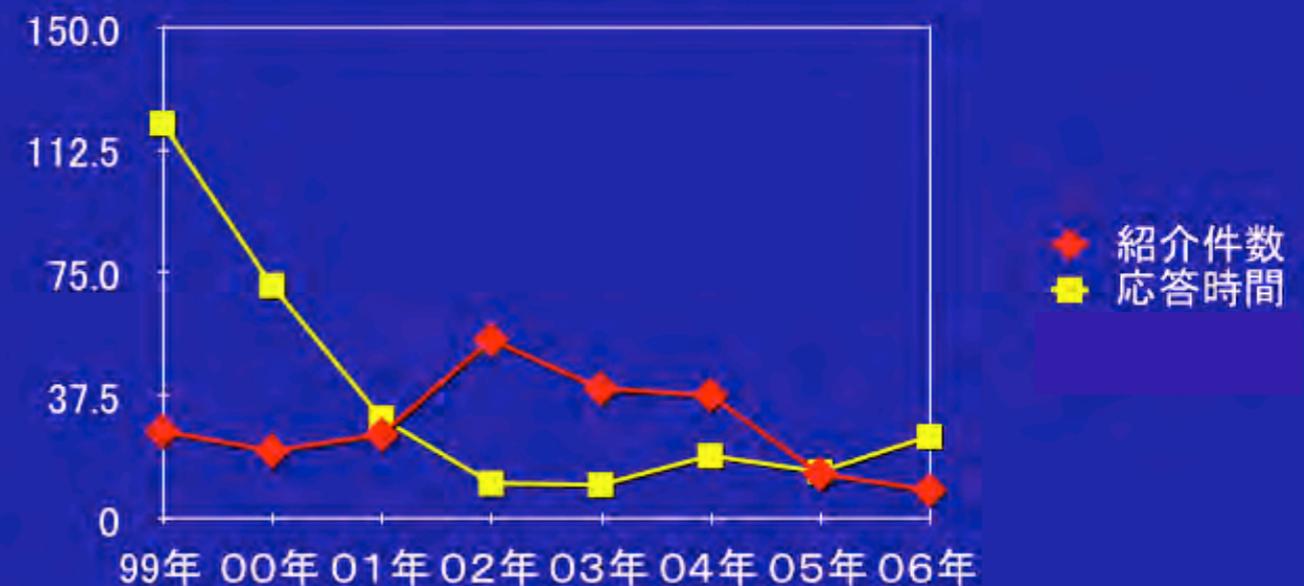


ネットコミュニティ

- レスポンスを速くすると活性化する
 - どのネットも同じ
 - 向こう側のマメさに依存する
 - よく知っている医師がビギナーよりもコンサルトしてくる
- 継続するネットコミュニティ活性化が重要

紹介件数と応答時間



05年5月～06年6月の情報はサーバーの故障で消失

拠点の対応者

- 誰が対応するか特にルールがあるわけではない
- 「ボランティア」な対応者
 - 「必ず目を通してしている」なぜ？
 - 「自分に離島赴任経験があるので他人事ではない」

ローテク画像、非対面

- 「人の」コミュニケーションベースがある
 - 「ツーカーの中部病院臨床研修のおかげ」
 - コンサル트가くるのは、主に中部研修修了生
 - 「両端の医師同士どんな人物かわかっている」
- 画像とテキストの真意を両端の医師がきちんと解釈している

拠点での運用努力

- ネットコミュニケーションの活性化の努力
 - スカベンジャー
 - プロモーション
 - Decisionのサポート：背中を押す
 - 電話で相談
 - ローテーションで同じ質問が3年おきに
 - 古参が「過去ログを見る」という
 - なごみのあるシステムと人の輪
- 他地域への同システムの展開
 - モノをもっていっただけではなかなか...
 - コミュニケーションベースがないと難しい

システム全体として

- ツーカーの人間関係に基づくコミュニケーションのICT的サポート
- 使命感を抱く人々がネットコミュニティを活性化させている
 - 気軽に相談し合える関係性の維持が一番重要
- 直接電話するほど気を使わない、一段浅いネットの関係
- 困難さ
 - ディ스플레이が小さく画像とコメントが同時に表示できない（機器の制限）
 - 「通信が遅い」（通信の制約）

展望

OCH Medical Informatics